

公共事業等施行状況調（令和3年10月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	項目 年度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (10月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		3年度 C	C/A	2年度 D	D/B	
		3年度	2年度	3年度 A	2年度 B					
1	治山・治水	26,237	26,588	17,006	17,926	12,105	71.2	12,532	69.9	
2	農林・水産	33,546	34,354	25,748	26,704	20,037	77.8	20,450	76.6	
3	道 路	58,538	56,264	37,599	35,263	28,990	77.1	29,053	82.4	
4	港湾・空港	7,164	6,929	3,453	3,712	2,663	77.1	2,200	59.3	
5	下水道・公園	9,647	8,551	2,400	2,314	1,357	56.5	1,699	73.4	
6	住 宅	2,513	2,090	2,085	1,680	1,246	59.8	1,358	80.8	
7	庁 舎	3,609	1,270	3,342	1,151	1,751	52.4	503	43.7	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	19,173	13,992	15,607	11,456	6,769	43.4	3,260	28.5	
11	工業用水・上水道等	1,034	1,042	106	89	96	90.6	80	89.9	
12	災害復旧	298	190	290	182	248	85.5	59	0.0	
13	その他	8,966	10,710	6,507	7,428	4,554	70.0	2,994	40.3	
	計	170,724	161,980	114,145	107,905	79,817	69.9	74,188	68.8	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和3年10月末）

（単位：社、件、百万円、％）

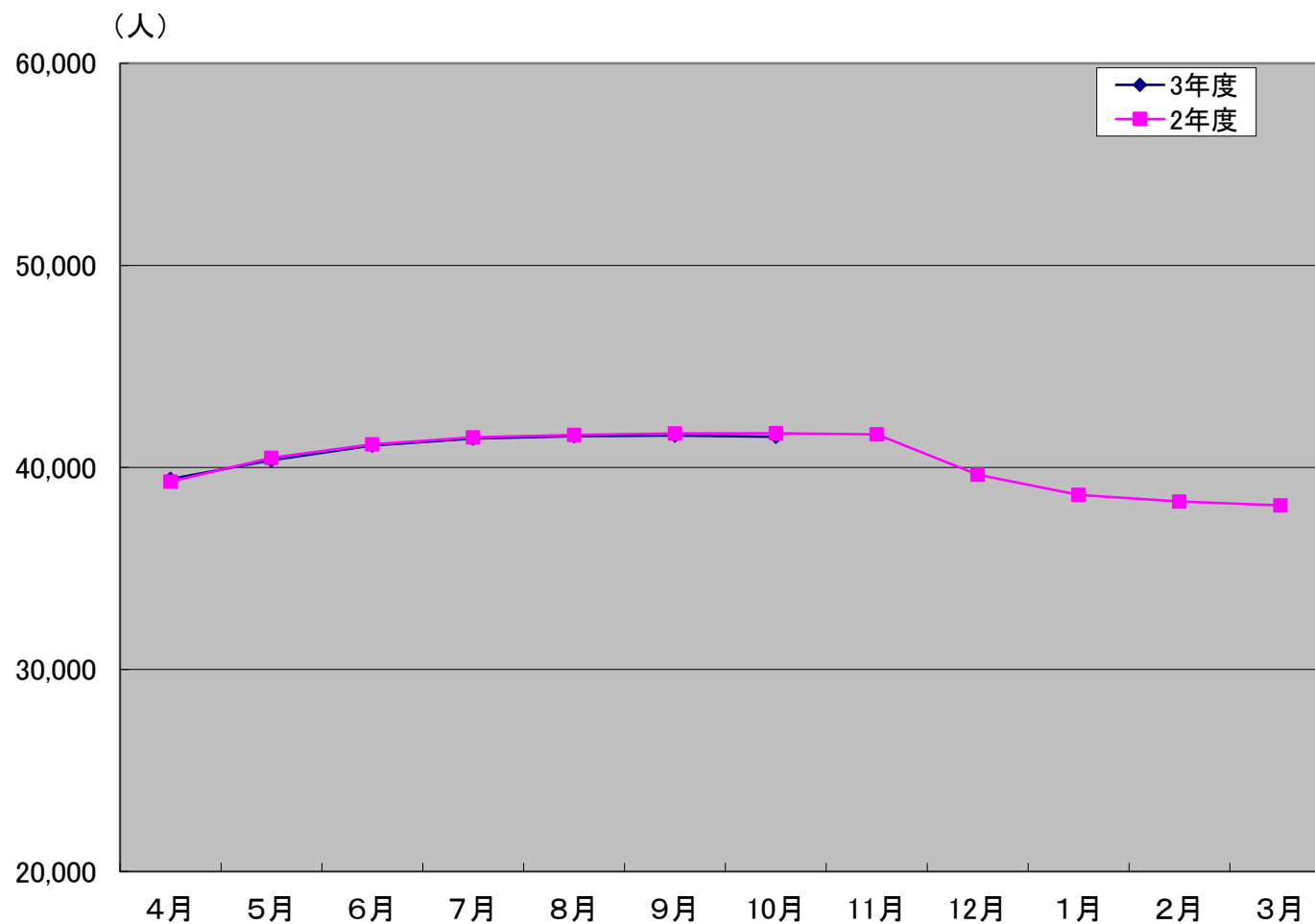
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
3年度	170,724	114,145	24,130	2,391	79,817	23,601	2,285	70,390	461	88	4,777	68	18	4,650
					B/A 発注率	C/B			D/B			E/B		
					69.9	97.8	95.6	88.2	1.9	3.7	6.0	0.3	0.8	5.8
前年度比	105.4	105.8	102.5	108.9	107.6	102.8	108.8	107.3	93.9	118.9	131.1	70.1	81.8	94.2
2年度	161,980	107,905	23,540	2,196	74,188	22,952	2,100	65,610	491	74	3,643	97	22	4,934
					B/A	C/B			D/B			E/B		
					68.8	97.5	95.6	88.4	2.1	3.4	4.9	0.4	1.0	6.7

被保険者数

	3年度	2年度
4月	39,424	39,303
5月	40,359	40,467
6月	41,085	41,148
7月	41,421	41,492
8月	41,541	41,611
9月	41,577	41,687
10月	41,516	41,689
11月		41,636
12月		39,646
1月		38,642
2月		38,307
3月		38,119

前月末被保険者数	41,577
資格取得者数	498
資格喪失者数	563
転入者数	4
転出者数	0
今月末被保険者数	41,516

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)10月末



建設資材の需給・価格動向調査 (3年11月)

	需給動向												価格動向												備 考	
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前			八戸			県平均				
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の9月の販売量は4万8千トン(セメント協会調べ)で前年同月比40.2%の増。セメント製造の焼成工程で使用する石炭価格の高騰を受け、主要メーカーが12月から来年2月にかけて2,000円以上の値上げを行うことを相次ぎ表明。主な需要家の生コンメーカーは大幅値上げに困惑するとともに、製造コスト増に対する危機感を強めている。需要家の反発が予想されるなか、今後の動向が注目される。先行き、横ばいの公算大。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○			道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや減少している。コンクリート製品メーカー各社は、製造・輸送コストが上昇しているとして、値上げを打ち出している。ここきてさらに、セメントメーカー各社の値上げ表明があり、さらに製造コストが増加することに対する危機感を募らせているのと同時に、値上げを早く浸透させて行きたい姿勢である。しかし、需要家は工事量の伸び悩みを受け値上げには反発をしている。先行き、横ばいの公算が大きい。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の10月の出荷量は5万6千m3(生コン工組調べ)で前年同月比15.2%の減。県内全体の生コンの需要が低調に推移している。こうしたなか、セメントメーカー各社の値上げ表明があり、製造コストが増加するとの懸念から、値上げを打ち出している生コンメーカーは早急に値上げの打ち出し分を浸透させたい意向である。しかし、需要家の反発が強く値上げ交渉は難航している。先行き、横ばいの公算が大きい。
砕石		○			○			○			○			○			○			○			○			生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。こうした状況下、工事量の伸び悩みを受けた一部需要家からの値引き要求があるものの、メーカー各社は出荷量減少による固定費率や人件費の上昇、燃料の高止まりを背景に現行価格を維持する姿勢。先行き、横ばいの公算が大きい。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○			SD295・D16でトン当たり96,000円と前月比6,000円の上伸。原料である鉄スクラップの大幅な価格上昇に加え、電力料金や副資材価格なども上昇。これらを受け、採算悪化に対する危機感を一層強めたメーカー各社は、相次いで販売価格を大幅に引き上げた。需要家は急激な値上げに難色を示したが、流通筋がメーカーに追随し売り腰を強めたことで、値上げ額の一部が浸透した。メーカーと流通筋は、今後も値上げ未達分の早期浸透に向けて強い売り腰を維持する構え。目先、強含みの公算大。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○			10月の県内出荷量は8万トン(含材協会調べ)で前年同期比11.8%の減。メーカー各社は、ストアなどの値上がりが分を製品価格に転嫁すべく交渉を継続。一方、厳しい工事受注環境が続く状況下、利益確保を優先する需要家は値下げ要求を続けている。両者に歩み寄りは見られず、価格交渉は平行線の状態。先行き、横ばいの公算大。
木 材			○			○			○			○			○			○			○			○		管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり126,000円と前月比2,000円の上伸。前月の横ばいから再び上昇に転じた。9月の県内新設住宅着工戸数は504戸で前年同月比5.2%の増加(国土交通省調べ)。ウェイトの高い持家が前年同月比7.5%の増加、それに次ぐ貸家は同26%の減少となっている。米松など輸入材の供給難が改善しつつあるものの、現地相場の高騰時に買い付けられた木材が出回り始めているため、原木が不足気味な国産材にも値上がり波及した。輸入コンテナの現地滞留が払拭されていないことや、原油高で船賃の高値が続いていることを背景に国産材への引き合いは強く、先行き、強含み。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はミニローリー渡しでリットル当たり121円、重油はローリー渡しで82円とともに8円上昇した。原油相場は世界的な需要の高まりから一時、7年ぶりの高値水準まで上昇。調達コストの急増で元売り各社は仕切価格を大幅に引き上げ、流通筋も価格転嫁を進めた。主要産油国は11月も追加増産を行わず従来の方針維持を決めた。一方、米国では原油在庫量が市場予測を上回ったほか、戦略石油備蓄放出の予測も浮上。原油相場の動向には不透明感が強く、目先、横ばいの見込み。
型枠合板			○			○			○			○			○			○			○			○		12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,650円と前月比50円の上伸。10カ月連続の値上がりとなった。出荷量が入荷量を上回る状況が続く、国内在庫量は記録的な低水準となった。市中在庫の不足に加え、現地価格の上昇や円安の進行によって調達コストがさらに上昇。高値在庫を抱えた流通筋は仕入れに慎重な対応を進めながら、採算確保のために販価引き上げを継続している。需要家は市場の先高値を背景に値上げを容認する姿勢。今後も原木不足などによる現地価格高は続く見通し。目先、強含みの見通し。
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり113,000円と前月比2,000円の上伸。原料である鉄スクラップの価格上昇などを背景に、電炉メーカー各社は値上げを表明。流通筋がこれまでの値上げ未達分を合わせて販売価格に転嫁すべく強い姿勢で交渉に臨み、値上げ額の一部が浸透した。需要面では、中小建築物の低迷から、商況が盛り上がるにはまだ時間を要するとの見方が強い。しかし、流通各社は仕入れ価格上昇による採算悪化を回避するため、今後も強い売り腰を維持していく構え。目先、強含みの公算大。

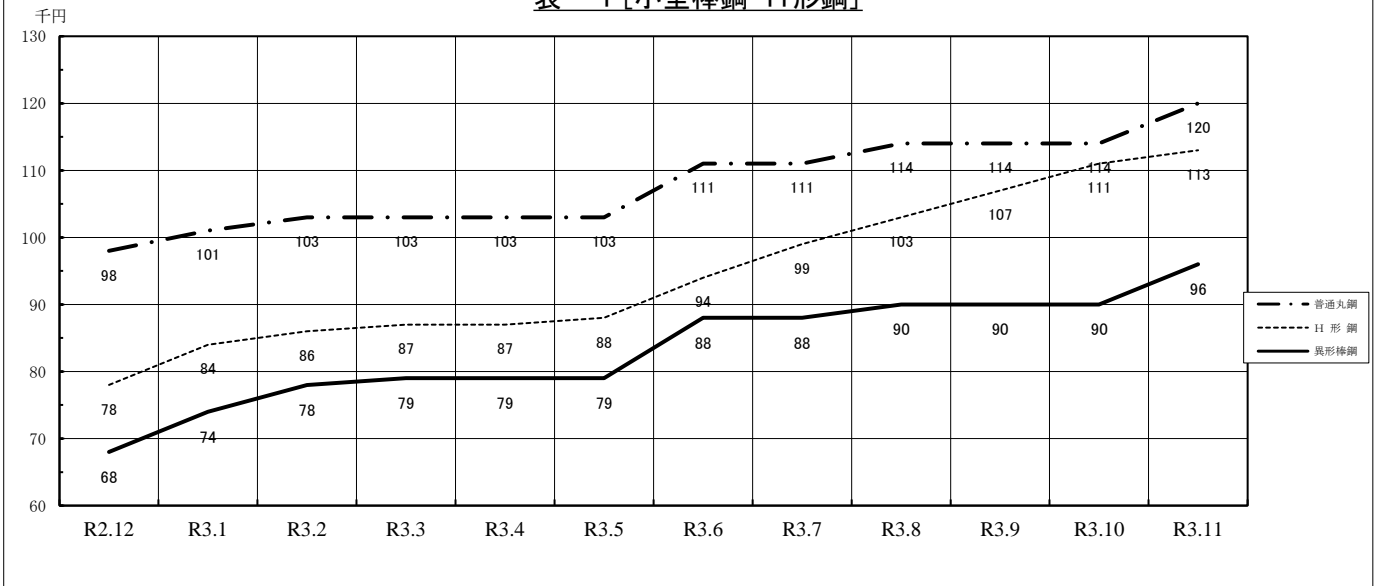
(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (3年11月)

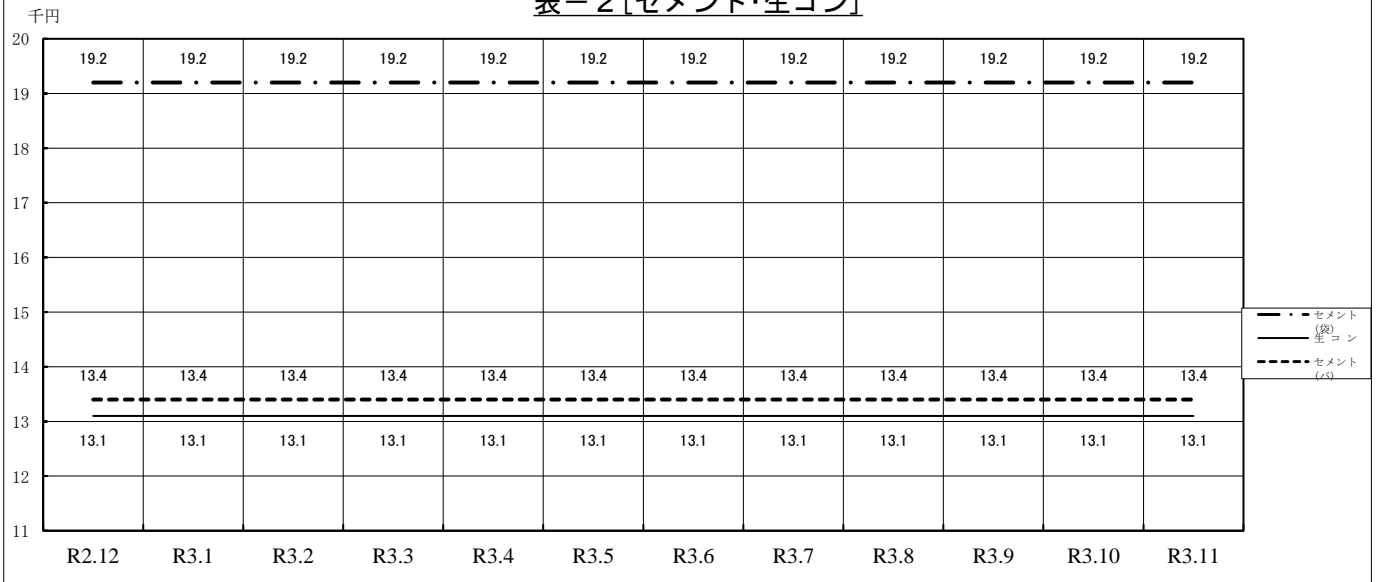
区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	36,000	0.0	36,000	0.0	36,000	0.0	36,000	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	13,000	0.0	11,800	0.0	14,600	0.0	13,133	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	4,300	0.0	3,467	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	3,900	0.0	3,700	0.0	4,600	0.0	4,067	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	2,700	0.0	2,800	0.0	3,200	0.0	2,900	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	120,000	5.3	120,000	5.3	120,000	5.3	120,000	5.3	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	96,000	6.7	96,000	6.7	96,000	6.7	96,000	6.7	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	96,000	0.0	96,000	0.0	96,000	0.0	96,000	0.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	12,800	0.0	13,100	0.0	12,700	0.0	12,867	0.0	128,670円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	126,000	1.6	126,000	1.6	126,000	1.6	126,000	1.6	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	121.0	7.1	121.0	7.1	121.0	7.1	121.0	7.1	121,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	82.0	10.8	82.0	10.8	82.0	10.8	82.0	10.8	82,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,650	3.1	1,650	3.1	1,650	3.1	1,650	3.1	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	113,000	1.8	113,000	1.8	113,000	1.8	113,000	1.8	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

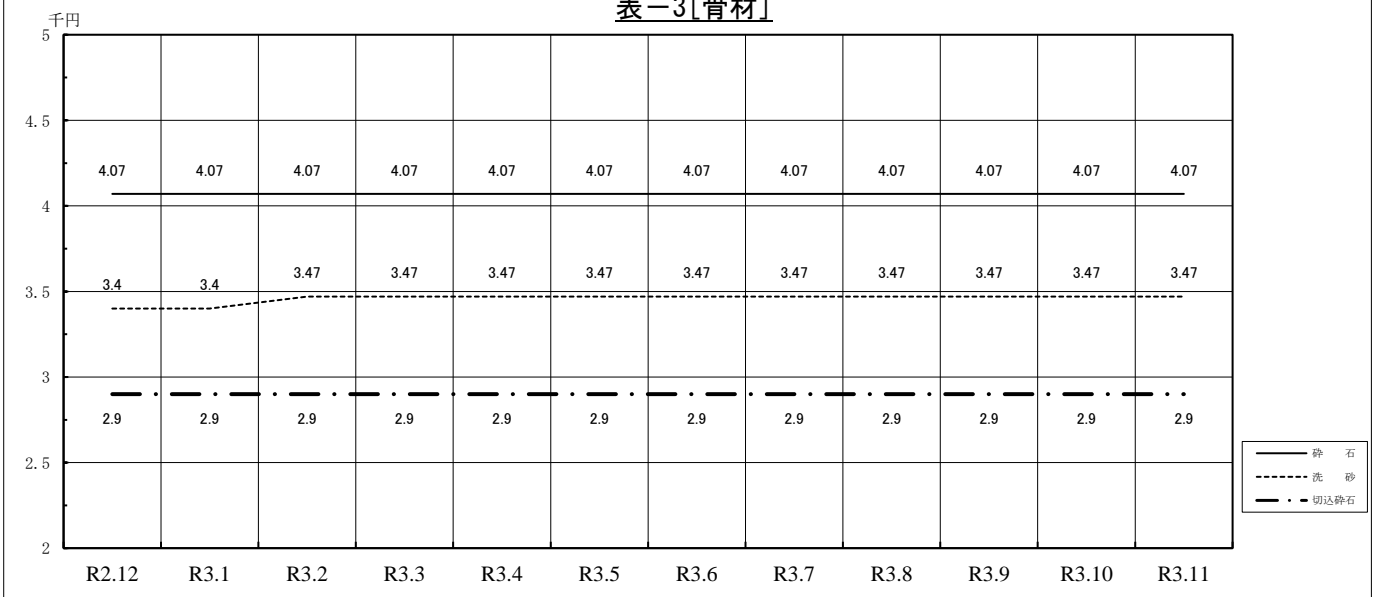
表一 [小型棒鋼・H形鋼]



表二 [セメント・生コン]



表三 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

